

# ツーリズムEXPOジャパン 2019 大阪・関西

## テーマ別シンポジウム

### 各分野のスペシャリストが討論 独自の知見で今後の道筋を探る

「ツーリズムEXPOジャパン(TEJ)2019 大阪・関西」フォーラム&セミナーではテーマ別シンポジウムが開催され、「海外旅行」「デジタルマーケティング」「エンターテインメント」という、3つのテーマについて議論を深めました。

#### 【海外旅行シンポジウム】

**テーマ** 「インバウンド4000万人時代の海外旅行市場はどなる～関空の強みを活かして新たな商機を～」  
**基調講演** 山谷佳之氏(関西エアポート株式会社 代表取締役社長CEO)  
**モデレーター** 黒須宏志氏(株式会社JTB総合研究所 研究理事)  
**パネリスト** 遠藤修一氏(株式会社JTB 執行役員 個人事業本部海外仕入商品事業部長)／永原範昭氏(フィンエア-日本支社長)／井上剛志氏(公益社団法人関西経済連合会 理事・国際部長 アジアビジネス創出プラットフォーム管轄)

冒頭、関西エアポートの山谷佳之代表取締役社長CEOが基調講演し、関西国際空港の日本人と外国人の利用者比率が31対69で「外国人が日本人を大きく上回っている」と指摘。

永原氏は、「機動性の高い日本路線」が「グローバルネットワークとの連携も図りやすい」と強調し、新たな需要の開拓に期待を表明。遠藤氏は、「リアルの旅行会社によるヒューマンタッチも重要」と語り、付加価値の高い市場開発への道筋を訴えました。井上氏は、「アウトバウンドへの対応が双方向交流活性化への鍵を握る」とい



活発な議論が交わされたテーマ別シンポジウム

#### 【デジタルマーケティング・シンポジウム】

**テーマ** 「観光デジタルマーケティング:活用事例から考える今と未来」  
**モデレーター** 鶴本浩司氏(トラベルボイス株式会社 代表取締役社長CEO)  
**パネリスト** 金澤 亮氏(合同会社ユー・エス・ジェイ セールス&アライアンスマーケティング部 部長)／柴田 啓氏(株式会社ベンチャーリパブリック 代表取締役社長)／綱川明美氏(株式会社ピースポーク 代表取締役)／亀山秀一氏(日本政府観光局[JNTO] 理事長代理)

まず金澤氏が「デジタルプラットフォームが時代の主役」と指摘しました。綱川氏は、「提供側が想定していなかった新しい活用方法など、様々な可能性が広がっている」状況を紹介。亀山氏は、「SNSや公式アプリなどからデータを蓄積して分析し、マーケティングに役立てている」と説明しています。

う見方を示しています。黒須氏は、「関空をゲートウェイとして活用し、アウトバウンドの拡大を」と総括しました。

#### 【エンターテインメント・シンポジウム】

**テーマ** 「エンターテインメントで地域を元気に」  
**モデレーター** 佐藤博康氏(松本大学名誉教授)  
**パネリスト** 小川友次氏(宝塚歌劇団 理事)／奥谷達夫氏(吉本興業株式会社 代表取締役副社長)／岡本 栄氏(三重県伊賀市長)／鄭 辰洙氏(韓国観光公社 東京支社長)

小川氏が「宝塚歌劇団は、市民から街の財産」と評価されている」と紹介。岡本氏も「先人の残した文化を将来の財産に」と強調しました。鄭氏は、「エンターテインメントを打ち出すには、日本政府観光局(JNTO)との提携も有効」と提言。奥谷氏は、「人を動かす大きな力を持つのがエンターテインメントだ」と強調しています。佐藤氏は、「継続や連携、共生がキーワード」と総括しました。

鶴本氏は、「今やるべきことを見極めていかなければならない」と訴えました。